

ご協力団体ならびに企業様向け (略称:回収高度化事業)

環境省 平成24年度自動車リサイクル連携
高度化事業ご協力に関するご説明

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構
事業検討委員会

はじめに

- 当機構が環境省より受託いたしました下記事業へのご協力をお願い申し上げます。
 - 一般社団法人 日本ELVリサイクル機構
代表理事 河村 二四夫
本事業総括責任者 副代表理事 伊丹 伊平
- 事業名
 - 使用済自動車に含まれる貴金属・レアアース磁石の効率的な回収・リサイクルに関する実証事業
 - 略称:回収高度化事業Ⅱとします。

回収高度化事業の目的

- 希少金属の循環利用（リサイクル）
 - 自動車等には多くの希少金属が使用され、今後更に使用量の増加が見込まれている。
 - これら希少金属は海外から調達されている。
 - 使用済みとなった自動車に使用されている希少金属をELVから回収し再利用することで海外依存率を低下させる。
 - 使用済自動車から回収する有用物を増やすための社会的システム構築を進める。

解体業界の役割

- 使用済自動車から部品をリユース、リサイクル目的で回収できるのは「自動車リサイクル法」により、解体業の許可業者。
- 技術的、経済的に回収できないものは、廃車ガラと共に破砕工程に委ねている。
- 希少金属を含む部品の多くは、技術的(情報)と経済的理由で回収されていないので、情報収集と回収の高度化により経済的障害を打破できるか検討する必要がある。

昨(23)年度事業のレビュー

- 全国3拠点の解体事業者の協力により、貴金属を含む車載コンピューター基板、エアバッグカプラー等の回収を実施した。
- 貴金属スクラップとして市場性を生む為回収した車載コンピューターから基板を選別する技術を検証した。
- 事業結果は、「希少金属の回収高度化」と題する小冊子を作成し、ELV機構会員に配布。

昨(23)年度事業の課題

- 採算性を明確に判断できるように、情報収集に努める。
- 社会的要請の周知に、積極的に取り組む。
- 使用済自動車から回収する有用物を増やすため、回収方法、集積方法、決済方法などを包括した社会システムの構築をすすめる。

24年度回収高度化事業の概要

- 23年度事業の課題への対策
 - 採算性の明確化・・・情報収集
 - 回収量の増加 2千台⇒1万台以上
 - 回収拠点の拡大 3拠点21社⇒200社以上
 - 社会的要請の周知
 - 希少金属・レアメタルに関する情報収集と広報
 - 回収物品の増加・・・新たに回収を検討する鉱種
 - ※本回収物品は地域限定(北海道・山梨)のトライアルとする。
 - ネオジム、ジスプロシウム・・・高性能モーター
 - 銅・・・ワイヤーハーネスなど

ご協力いただきたい内容

- 団体のELV会員事業所に「24年度回収高度化事業検討委員会（以下 検討委員会）」が決定する対象部品とその品位を高めるため、二次分別を実施いただく。
- 団体は、対象部品を集積し検討委員会が指定する期日までに指定の場所にお送りいただく。
- 上記を管理するための地域別「実行委員会」を設置いただき、検討委員会と実施事業所とのパイプ役となっていただく。

回収部材と二次分別部品

- 回収部材

- 1. エンジンコンピューター
- 2. エアバッグコンピューター
- 3. AB用コネクタ(カプラー)

以下「EG/CP」と記します。

以下「AB/CP」と記します。

以下「カプラー」と記します。

- 二次分別部材

- 1. EG/CP基板
- 2. AB/CP基板

標準的なEG/CPと基板

車種:トヨタ(カーナ)



EG/CP基板
(二次分別部品)

EG/CP基板の回収と荷作り梱包

- 回収・・・ELV1台から1個回収し、カプラは取り外すものとする
 - エンジンリユースに伴い、EG/CPの回収が出来ないELVの場合は、代替えのEG/CP基板を回収して下さい。
- 二次分別・・・ケースは素材(アルミ、鉄、樹脂)ごとに各社で重量を計測し、基板のみを回収する。
- 荷作り梱包
 - 協力会社から各地域拠点(幹事会社)に移送する場合の梱包荷姿は指定しません。
 - 出荷時に重量を計測し、データ表に入力する。

標準的なAB/CPと基板

車種：マツダ（MPV）



AB/CP基板
(二次分別部品)

AB/CP基板の回収と荷作り梱包

- 回収・・・ELV1台から1個回収する。
- 二次分別・・・ケースは素材(アルミ、鉄、樹脂)ごとに各社で重量を計測し、基板のみを回収する。
 - 前頁の外部コネクタに接続されるワイヤーハーネスが付いた部分は取り外さないで良いこととする。・・・但し、ワイヤーは1cm前後で切断する。
- 荷作り梱包
 - 協力会社から各地域拠点(幹事会社)に移送する場合の梱包荷姿は指定しません。
 - 出荷時に重量を計測し、データ表に入力する。

標準的なABコネクタ



ABカプラーの回収と荷作り梱包

- 回収・・・ELV1台から運転席、助手席のもの（黄色のカプラーに限る）をオス・メスを1セットで各1個を回収する。但し可能であればその他の部位にあるカプラーも回収出来れば尚可。
- 二次分別・・・なし。但しワイヤーハーネスは出来るだけ短く切断する。
- 荷作り梱包
 - － 協力会社から各地域拠点（幹事会社）に移送する場合の梱包荷姿は指定しません。
 - － 出荷時に重量を計測し、データ表に入力する。

回収状況の把握

- 回収対象部品別集計
 - 集積拠点別中間集計
 - 数量
 - 重量
 - 集積拠点別出荷時集計
 - 総数量
 - 総重量

- 抽出元素別運搬
 - 対象部品の分類
 - 対象部品:抽出しようとする元素を含む部品
 - 対象部品別の荷姿
 - 発送先
- 運搬手段

作業に係る費用等について

- 1台あたりの作業費用：約725円
 - EG/CP 1個、AB/CP 1個、ABカップラー 2個回収した場合1台としてカウントする。
- 輸送費について
 - 地域内輸送費用、精錬業者までの輸送費用は本事業より実費を拠出いたします。(領収書添付)
 - 輸送先(精錬業者)については別途ご案内いたします。
- 実施期間
 - 回収に係る実施期間は、11月に開催予定の説明会終了後から12月中旬頃(詳細は別途ご案内)といたしますが、事前に回収していただくことも可能といたします。
- 成果物の対価配分について
 - 各団体様で集積した重量に応じ、成果物対価の配分をいたします。